

6. 日本美術刀剣保存協会たたら「日刀保たたら」の採業

鉄鋼新聞 2005.2. 7.記事より

「たたら製鉄の操業は『秘技』とよくいわれますが、ぜひ一度みたい」とよく聞かれる。つい最近も同じ質問を受けたところ。古い資料を整理していて、かつて友人が送ってくれた「日刀保たたら」の操業を伝える新聞記事ができました。最近では、色々「たたら」製鉄の復元実験をトライされているところがありますが、実際の操業を見ることが出来る機会はほとんどありません。この鉄鋼新聞の記事は、たたらの実際の操業をわかりやすく伝えていて 参考になると思い、友人に送りました。ちょっと 古い記事ですが、日本で唯一実操業で「玉鋼」を生産している「日刀保」のたたら。資料整理を兼ねて ご参考にホームページに掲載しました。

2010.5.1. by Mutsu Nakanishi

日本製鉄業の源流「たたら」

古くは、たたら製鉄は「たたら」の産地として、10の産地と12の産地に分かれ、それぞれが独自の製法を持っていた。その中でも、出雲の地・玉鋼（たまがね）は、日本最大の製鉄産地として知られている。この製法は、たたら製鉄の源流とされている。玉鋼は、たたら製鉄の産地として知られている。玉鋼は、たたら製鉄の産地として知られている。玉鋼は、たたら製鉄の産地として知られている。



たたら

出雲の地で生きる匠の技 鉄づくりの本質に迫る

出雲の地で生きる匠の技、鉄づくりの本質に迫る。玉鋼の製法は、たたら製鉄の源流とされている。玉鋼は、たたら製鉄の産地として知られている。玉鋼は、たたら製鉄の産地として知られている。玉鋼は、たたら製鉄の産地として知られている。



日刀保たたら

3昼夜かけ2トンの玉鋼(はがね) みなぎる緊張感

3昼夜かけ2トンの玉鋼(はがね) みなぎる緊張感。玉鋼の製法は、たたら製鉄の源流とされている。玉鋼は、たたら製鉄の産地として知られている。玉鋼は、たたら製鉄の産地として知られている。玉鋼は、たたら製鉄の産地として知られている。



玉鋼

「たたら製鉄」とは

「たたら製鉄」とは、たたら製鉄の源流とされている。玉鋼は、たたら製鉄の産地として知られている。玉鋼は、たたら製鉄の産地として知られている。玉鋼は、たたら製鉄の産地として知られている。



ノロ出し

鉤(けら)出しスタート 朝5時半、気温マイナス10度

朝5時半、気温マイナス10度。鉤(けら)出しスタート。玉鋼の製法は、たたら製鉄の源流とされている。玉鋼は、たたら製鉄の産地として知られている。玉鋼は、たたら製鉄の産地として知られている。玉鋼は、たたら製鉄の産地として知られている。



村下(むらげ)の倉庫で始まった



たての側面から鉤を削っていく



横の側面を削すと大きな炎が立ち上がる



鉤が見え始め最高温に達する



鉤が削れ、鉤出しが完了